

大雨・台風に備えましょう

これからの季節は、梅雨や台風など雨の多い時期を迎えるため、大雨や集中豪雨による土砂災害や河川の増水・はん濫などに十分な注意が必要です。

災害から身を守るために、日ごろから災害に備え、災害発生の恐れがある場合には適切に行動できるよう準備しておきましょう。 **【危機管理室】**



ハザードマップで確認してください

広報はしもと5月号と同時に配布している橋本市ハザードマップには、土砂災害警戒区域・特別警戒区域や紀の川洪水時の浸水想定区域（最大想定）などを掲載した「ハザードマップ面」と、事前に確認してほしいことを掲載した「情報面」があります。

●ハザードマップ面で確認すること

- 自宅や親族宅、職場などが土砂災害や浸水想定区域に該当していないかを確認する。土砂災害や浸水想定区域に該当しない地域の人は、避難所が3密状態になるのを防ぐために在宅避難などの分散避難を検討する。
- 土砂災害や浸水想定区域に該当する地域の人は、避難所の位置や土砂・浸水被害などの危険性がある箇所を避けた避難経路を確認する。

●情報面で確認すること

- 雨や土砂災害、河川の決壊に関する知識を身につける。
- 土砂災害や浸水想定区域に該当しない人は、非常持出品の例を基に長期避難生活に対応できるよう最低3日分（理想は7日分）の食糧・飲料の備蓄およびマスク、アルコール消毒液などの感染症対策品を備蓄する。
- 土砂災害や浸水想定区域に該当する人は、非常持出品や情報を収集する手段、避難するタイミングを決めるための基準（警戒レベル）を確認しておく。また、家族と避難先や連絡手段も確認しておく。

災害時に避難所の混雑状況を確認できます

パソコンやスマートフォンなどから避難所の混雑状況が確認できます。避難が必要な状況が見込まれる場合には、避難先の混雑状況を事前に確認の上、避難してください。

●確認方法



●分散避難にご協力ください

現在、新型コロナウイルス感染症対策として、避難所での混雑を避けるために分散避難（自宅や友人宅、ホテルなど避難所以外の施設を利用した避難）をお願いしています。



今月号に掲載の催しなどは新型コロナウイルス感染症の影響により中止または延期となる場合があります。催しの詳細は、市ホームページなどをご確認ください。

交通安全

橋本人

かける

交通安全を推進する 橋本市交通指導員会の皆さん

私たちは橋本市の交通安全を推進するため、街頭指導や交通安全に関する教育・啓発活動などを行なっています。新学期が始まるころには、児童たちを対象に交通事故を防止するための歩行指導を実施しています。

街頭活動では、子どもたちの元気なあいさつが活動の励みになっています。また、私たちの活動によって、子どもたちだけではなくドライバーの皆さんにも交通安全意識をより高めてもらえればうれしいです。

今後も交通事故のないまちづくりと、子どもたちの安全に貢献していきたいと思っております。

目次

— CONTENTS —

- 3 特集 大雨・台風に備えましょう
- 4 特集 償却資産の申告
- 6 特集 母子保健推進員
- 8 特集 介護保険料が変わります
- 10 情報ワイド
 - ▶ 新型コロナワクチン接種
 - ▶ 紀の国わかやま文化祭2021
 - ▶ 職員採用試験のお知らせ
 - ▶ 市営住宅入居者募集 など
- 14 情報ひろば
- 20 タウン情報
- 21 子育てばーく
- 22 本のひろば
- 23 健康カレンダー
- 24 フォトトピックス

今月の表紙



隅田小学校で行われた歩行指導の様子。交通指導員が横断歩道の安全な渡り方などを丁寧に教えてくれます。